

令和4年度

学校案内



# 農業やろうよ。

京都府内での  
農業の担い手を目指して!



京都府立農業大学校

Kyoto Prefectural College of Agriculture SCHOOL GUIDE



京都府立農業大学校は「グローバル」な大学です。グローバルとは、グローバルとローカルの統合語です。グローバルな環境変化に対応しながら、ローカルレベルで自ら立つ農業・地域社会の強みを活かす農業人を育てるのが、農大のミッションです。

このために構築された農大教育は実践的で、一般的な大学教育とは対照的です。有効な教育には、教育の基本的3要素(知識・技能・態度)の有機的統合が不可欠です。大学のカリキュラムでは知識は「理論」、技能は「方法論」、態度は「実習」です。農大教育では総教育時間の約6割が実習で、それで態度を獲得し、残る教育時間で理論と方法論を学び、知識と技能を修得します。実習での経験を理論的・方法論的枠組の中で体系的に理解するようカリキュラムを編成しています。実習を軸とする帰納的アプローチにより課題解決能力の獲得を図っています。

実践的教育の狙いの第1は、生産者能力の涵養です。圃場での農業生産の実習を通して、日本農業の原理を理解し、その強さを活かす農業生産能力を獲得します。第2は経営者能力の涵養です。実践プロジェクトを通して、自己管理するほ場で農業生産だけでなく農業経営も経験し、農業経営の基礎力を修得します。第3は指導者能力の涵養です。寮生活を通して、コミュニケーション能力やチームとして協働する能力など社会人基礎力を身につけ、地域社会を組織し指導する基礎力を獲得します。

府立農大生にはグローバルな農業人として、京都の農業、日本の農業を担うことが期待されています。

京都府立農業大学校名誉校長 河村 能夫

## 設置目的

京都府立農業大学校は、農業を志す者及び農業者に対し、農業に関する技術や知識を習得させるための教育や研修を行うことにより、農業の担い手となる人材を養成しています。

## 組織 農業大学校

### 農学科【2年制】

※専修学校ではありません

農業の担い手を養成するための実践的な教育

- 野菜経営コース ●茶業経営コース

### 研修科【短期】

多様な担い手を養成するための研修  
就農ステップイン講座／緑の学園  
農業機械士養成研修／  
農業経営能力養成講座

## 農学科【2年制】

修学年数・定員：2年(全寮制) 1学年20人

### 教育内容

収益性の高い京野菜や宇治茶生産の担い手を養成するため、実践的な栽培技術や経営手法を習得するための授業を行っています。

### 教養科目

国語ⅠⅡ／情報処理ⅠⅡ／農業基礎

### 共通科目

農業簿記／植物生理ⅠⅡ／農業基礎／作物概論／園芸概論(野菜・花き)／茶業概論／農業経営／経営分析／気象学／作物保護／農業機械／農産加工・調理／農業機械操作論(大型トラクタ・農業機械実習)／土壌肥料／農学実験／農政時事／市場流通論／マーケティング論／就農計画／農業生産工程管理(GAP・GAP演習)／スマート農業／学生主体性開発プログラム

### 専攻科目

- 野菜経営コース 園芸演習／葉根菜類／果菜類／花き類／園芸施設概論ⅠⅡ／園芸経営ⅠⅡ
- 茶業経営コース 茶業演習／茶生産ⅠⅡ／茶病害虫・茶土壌肥料／茶製造／茶審査／製茶化学／茶経営ⅠⅡ

### 実習(共通)

基本実習／専門実習／作物実習／農家派遣実習

## 修学資金制度

一定の要件を満たす者は、京都府立農業大学校修学資金の貸与(授業料及び入学金)を受けることができます。また、卒業後5年間、京都府内で就農した場合は全額返還が免除されます。

## 野菜経営コース

### 露地野菜グループ

ナス、スイカ、キャベツ等の露地で栽培する品目を中心とした経営について学びます。



### 伝統野菜グループ

九条ネギ、みず菜等の京の伝統野菜を中心に、葉根菜類から果菜類まで幅広く学びます。



### 野菜・花きグループ

野菜栽培だけでなく、切り花、花壇苗、鉢花など、野菜と花の複合経営を学びます。



### 施設野菜グループ

トマト、ネギ等の施設栽培を中心とした経営について学ぶとともに養液栽培の基礎についても学びます。



## 茶業経営コース

煎茶、玉露の栽培・製造技術の習得、茶の品質評価、効能など緑茶全般について学びます。

2年生では1人当たり20a程度の茶園管理と施設や露地野菜生産を担当し、茶と野菜の複合経営を実践できる技術を身につけます。



## ◎野菜経営コースでは…

就農に役立つ実習として、1年生ではグループ単位でビニールハウスでの栽培、管理、収穫などの実習を行います。2年生は1人でビニールハウスや露地ほ場の一定面積を受持ち、経営感覚を身につけます。



## ◎実践プロジェクト学習

学生が自ら設定した課題を実践し、結果をとりまとめることで、課題の解決方法や栽培技術を習得する「実践プロジェクト学習」に取り組んでいます。



## 地域との つながり



地域FM局にも出演しています。



地域イベントにも積極的に参加しています。

## 資格・特別講習など

在学中に就農・就業などに必要な資格を取得することができます。

- 大型特殊自動車運転免許（農耕用）
- 狩猟免許（わな猟）
- 日本茶アドバイザー
- 小型車両系建設機械運転技能講習
- 農業機械士
- 日本茶インストラクター
- 小型フォークリフト運転技能講習
- 農業簿記検定
- 危険物取扱者（乙種・丙種）
- 日本農業技術検定



大型特殊自動車運転免許試験



小型車両系建設機械運転技能講習



小型フォークリフト運転技能講習

## 研修科【短期】

### 農業機械士養成研修

農業機械に関する安全知識、整備技術、運転並びに利用技術を学びたい農業者を対象に、学科と実技を8日間開催しています。



### 就農ステップイン講座

一般府民向けに、野菜の種まきから収穫までの要点について、座学と実習により学ぶ講座を開催しています。



# 先輩からの一言

令和2年度卒

いまはせしやうへい  
**今長谷 翔平さん**



私は高校生の時に農業に興味を持ちました。高校在学中の私は、どの職に就き何をしたいか、具体的なイメージもなく、進学先に悩んでいました。そんなときに農業をする人が減少しているというニュースを見て、何か力になれないかと思いました。そして、農業について学ぶことができる農業大学校を知り、進学しました。

漠然と農業がしたい、という気持ちで入学した当初は、今までとの環境の違いから不安を感じていましたが、学内の先生や先輩方が野菜の栽培方法や寮生活等を教えてくださったので、すぐに慣れることができました。2年生のプロジェクトでは多くの品目を栽培してみたいという思いがあり、10品目の野菜と水稻を栽培しました。

私の就職先は水稻と麦を中心としていて、私は主に九条ネギの栽培を任されています。教わったことを活かし、自分のやり方を模索しつつこれからも頑張ります。

令和元年度卒

あだち かずたか  
**足達 一尊さん**



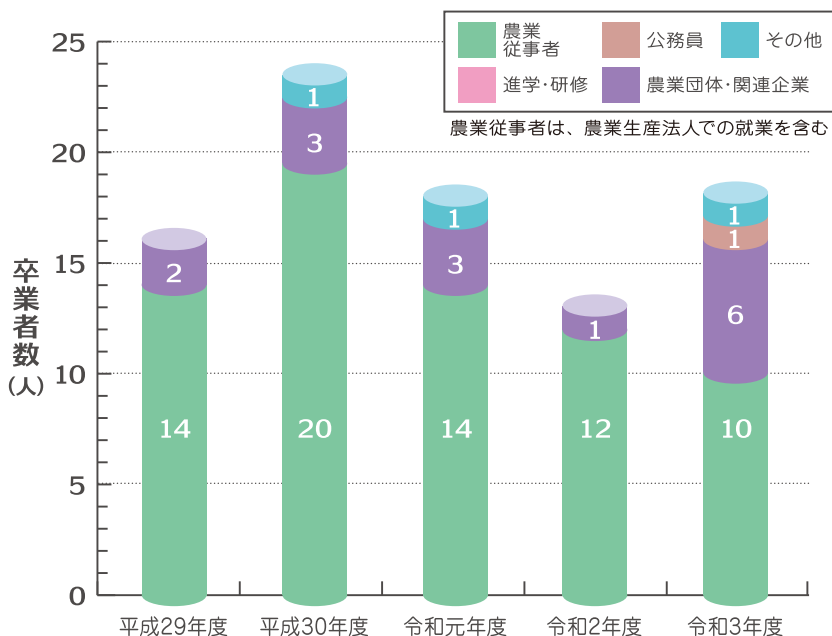
私の家は農家で、水稻と野菜を栽培しています。私は小さい頃から農作業を手伝ってきました。上に姉が2人いるのですが、それぞれ農業とは別の道に進みました。高校卒業後の進路では、農業機械等の整備の仕事に就くか、実家の農業を継ぐか迷いましたが、農業大学校に進学しました。

農業大学校に入学し、初めての寮生活で不安もありましたが、寮内や授業を通して先生や先輩とコミュニケーションをしていくうちに、徐々に緊張も解れていきました。

1年生では、農家派遣実習で地元のメロン農家に行かせていただきました。そこでの栽培体系を参考に、2年生のプロジェクトで挑みましたが、全体的に納得のいくものはできませんでした。しかし、日々の実習記録簿を記入することで、この日に何をしたら、農業資材をこれだけ消費し在庫がどれだけあるかを把握することが習慣化し、そのおかげで農業法人に就農した時にとっても役立ちました。

就農先では、一年中仕事があり毎日忙しいです。正社員の中で、一番年が若いこともあり色々と作業しております。今後も色々経験していきたいと思っています。

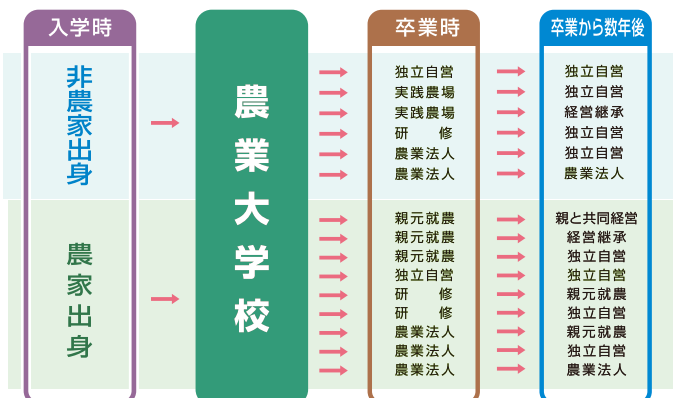
## 卒業生の進路状況 (最近5年間)



## 主な就職先

- (株)アグリイベリス
- かみむら農園
- こと京都(株)
- (株)上杉農園
- なかがわファーム
- (株)八百一の郷
- (株)アグリランドさんとよ
- (株)味歩里
- (有)誠武農園
- (株)中嶋農園
- 戸田農園
- (有)アグロス胡麻郷、
- (株)村田農園
- 京都府
- (株)協本常香園
- 京都青果合同(株)
- 大阪中央青果(株)
- ヤンマーアグリジャパン(株) など

## 卒業後の主な就職パターン



## 学校設備





### 学校案内図

#### タクシー

JR山陰本線「綾部駅」下車 北西へ約5キロ  
JR綾部駅からタクシー 約10分

#### バス

あやべ市民バス JR綾部駅南口から「志賀南北線」に乗車  
「殿貝バス停」下車 徒歩30分（※便は1時間に1本の割合です）

#### 車

舞鶴若狭自動車道「綾部インター」を出て、府道77号を南に進み府道74号を西へ、  
豊里幼稚園を北に折れて岡倉方面に進む



# 京都府立農業大学校

〒623-0221 京都府綾部市位田町桧前30  
TEL 0773-48-0321 FAX 0773-48-0322  
E-mail kyo-nodai@pref.kyoto.lg.jp  
URL <http://www.pref.kyoto.jp/kyonodai/>